

(様式例)

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨特別支援学校

学校番号	119
------	-----

自己評価

学校教育目標	「ひとりだちのできる子」の育成（自立と社会参加の力を育てる） （思いを伝える 自分も仲間も大切にする なりたい自分を目指す） ・生活自立（基本的な生活習慣の確立・基礎体力の向上・基礎学力の定着） ・社会自立（情緒のコントロール・コミュニケーションスキルの獲得・ 規範意識や危険回避能力の育成） ・職業自立（自己理解と行動の調整・働くことの意義や役割の理解・職業 に対する理解や実的な知識・技能・態度の習得）
--------	---

評価する領域・分野	「学校の周知」（教育活動、保護者・地域連携、情報提供）
現状及びアンケートの結果分析等	・学校教育目標や学校の安心安全対策にはほとんどの保護者や学校運営委員から肯定的な評価を得ている。「いじめや差別を見のがさず組織として回答している」という項目では、「わからない」との回答が半分以下となり、学校の取組が認識されつつある。 ・作品展や写真展の回数の増加、開催地の拡大もあり、学校の存在や、どのような児童生徒が学んでいるのかという点に関しては周知が進んでいると90%以上の保護者から肯定的な回答があった。しかし、HPでの発信や日々の授業のこと等については「あまりあてはまらない」や「わからない」の評価が他の項目より多くなっており、発信の工夫が求められている。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・学校通信やホームページ、報道機関を活用した教育活動の発信 ・各地域での作品展・写真展を通した教育活動等の情報提供 ・作業製品の販売や児童生徒の校外での活動を通して地域と交流
重点目標を達成するための校内組織体制	学校通信やホームページ、報道機関を活用した教育活動の発信 ・部主事、担任、行事担当者 各地域での作品展・写真展を通した教育活動等の情報提供 ・学習支援部、渉外部 作業製品の販売や児童生徒の校外での活動を通して地域と交流 ・進路支援部、各部行事担当者
目標の達成に必要な具体的取組	・行事や教育活動をタイムリーにHPに掲載し、また学校通信を定期的に発行し、回覧版にて地域住民への周知を行う。 ・学校行事や外部支援による教育活動の情報を報道に提供し、取材と掲載を依頼する。 ・作品展、写真展の場を増やして開催し、学校のHPのQRコードを掲示して学校周知を図る。 ・作品展、写真展の搬出入を保護者とともに行う。 ・作業製品の販売会や校外学習で直接地域の方との交流を図る。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・作品展写真展における感想・メッセージ ・学校運営協議会委員からの意見や地域等外部からの意見 ・学校評価アンケートの結果
取組状況・実践内容等	学校通信、HP、報道機関を活用した教育活動の発信 ・全学部の取組を掲載した学校通信を8回発行し、地域の回覧版で回覧した。

	各地域での作品展・写真展を通じた教育活動等の情報提供 ・作品展写真展の開催を7回と増やし、会場のポスターにHPのQRコードを付けた。 ・地域ごとにPTA会員による搬出入を行った。 作業製品の販売や児童生徒の校外での活動を通して地域と交流 ・地域住民が多数訪れるイベント会場で作業製品の販売会を行った。
評価の視点	評価
① 通信の内容を充実させたり報道機関が取り上げたりして、学校の周知を図ることができたか ② 本校の教育活動に対する保護者・地域の理解が深まったか ③ 作業製品を販売する機会や場所を広げたり、地域の方と直接交流する機会を計画できたか A 十分達成した、B おおむね達成した、C やや不十分、D 不十分	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
成果・課題	総合評価
○写真展作品展の回数や場所を広げたことにより、学校や児童生徒についての周知は広がったと言える。 ○PTAが写真展作品展の搬出入に参加したことにより、地域の保護者同士のつながり、地域とのつながりをより深めることができた。 ○地域のイベントへの出店では、普段学校と関わりがない方々との交流により、学校周知ができた。出店を機会に個人でイベントに参加する生徒もあり、地域とのつながりを持つきっかけとなった。 ▲HPをより魅力のあるものにするため、生徒によるHPでの発信を行っていく。 ▲保護者に対して、行事等の取組についての周知や理解は高まっているが、日々の授業のねらいや児童生徒に付けたい力を保護者に伝え連携して支援していく必要がある。	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	・生徒によるHPを利用した発信 ・日々の授業などの保護者との共有の工夫 ・実際に学校での授業や支援を知っていただく機会の設定 ・当校のこと、児童生徒のことをより理解していただけるような、居住地校交流や学校間交流の在り方を検討する。

学校関係者評価（令和 5年 10月 17日実施）

意見・要望・評価等 ・児童生徒が当校を楽しみにしている様子が見られ、安心できる。 ・学校と生活の場が連携をとり、丁寧な支援を行っていくことは非常に大切である。 ・学校評価の少数の意見にも目を向け、汲み取ることは大事だと思う。 ・居住地校交流の在り方がもっと工夫できないか検討してほしい。
